

## 令和3年度 第1回 FD 研修会を開催しました。

FD 推進部会主催による令和3年度第1回 FD 研修会を令和3年12月27日(月)から令和4年1月21日の間で開催しました。内容は、『DX教育について』をテーマに、本学の實松生活科学部准教授および高橋総合生活学科准教授による研修でした。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、研修動画を共有という形で実施しました。

研修後のアンケートでは、「“DXの推進”と言われるが、大学の授業など教育活動の中でどのように取り組んでいくのか、具体的なイメージがつかめず、困惑していた。今回の研修で、具体的な事例を知ることができ、どういう取り組みが可能か少しイメージができた。」「DXの定義とIT化との違いなどを説明してもらうことで、理解しづらい用語について整理することができた。」「Google classroom を上手に活躍させており、今回卒業研究でロボットを使った遠隔指導を行われていることを知り、新しいことに積極的に取り組まれる姿勢に刺激を受けました。」「Moodle は既に近隣の大学でも使用されており、教育効果は Classroom に比べて格段に高い。今後このようなシステムの有無が、受験生の大学選択のポイントになり得ることも想定するべきだと思われる。」「会議資料をデータで配布することやオープンキャンパスでの Google Meet の活用、Google classroom による学生への連絡、eラーニング PF についてうかがい、DX 推進が SDGs につながることも理解することができました。」「DX 化は政府主導で教育現場や事務現場にも必ず入り込んでくるので、できることから特に印鑑廃止、紙媒体で提出を少なくする方法を取り入れていただきたいと感じた。」「“文章を書く”ことの大切さとのバランスを考えながら、教育的効果の向上のための DX の充実を図っていきたいと思います。」「紙からデータへの移行はすぐに取り組みそうであるが、何をデータで配付し、何を紙媒体で配付するかという質的な線引きが重要だと感じた。その感覚は個々で異なると思われるため、部署ごとの議論が必要だと感じた。」「ディスプレイが正面に一つの大きな教室では、学生の平等性を保つため、クラスルームにスライドをアップし、最後尾の学生にも授業内容が分かりやすくしている工夫は参考になった。」など多くの感想が寄せられました。